

協力事業：「金沢信用金庫 金融講座・社員研修制度に関する勉強会」

団体名●信川ゼミナール 2年生／代表者名●信川景子(短期大学部准教授)

はじめに

石川県信用金庫協会と金沢星稜大学の連携協定に基づき、金沢信用金庫経営管理部人事グループから講師をお招きし、ゼミナール2年生の勉強会を実施した。

本学(経営実務科)で学ぶ学生において、卒業後の進路として金融業界へ進む学生は多い。また、信川ゼミナールでは、1年生後期から経営を支える人的資源管理、特に人材育成に関する施策研究を重ねている。今回の活動目的は、実際に金融機関の社内教育担当者から実務現場のお話を伺い、金融機関の現状や教育研修に関しての理解を深めることである。

活動内容

12月12日の2年生ゼミ活動日に、金沢信用金庫経営管理部人事グループの崎川雅史様を本学にお招きし、金融機関の概要、信用金庫の役割、社内研修の現状等について講義をしていただいた。研修制度の目的や課題についても丁寧な説明を頂き、社内研修や外部研修のメリットやデメリット、近年の研修の傾向などに関して学びを深めた。

また、効果的な研修を実施するための必要な方策に関して、ゼミ生がグループに分かれて具体的な方法について検討した。

最後に、ゼミ生が進めている人材育成に関する卒業研究において、研究を通して生じた疑問に対する実務家の意見を頂き、ディスカッションを行った。

＜ディスカッション事例＞

- ・ボス・マネジメントの現状
- ・離職率が高い企業と人材定着が進む企業の原因

成果、結果の考察

地域を支える金融機関にて社内教育を担当している方から実務の現状を伺えたことは、就労前の学生にとって貴重な経験であった。経営理念や戦略等によって求める人材が異なることは知識学習により理解しているが、毎年の事業計画の調整や前期の振り返りまで詳細に反映し研修計画を練り直すなど、実

際の現場担当者が行う具体的な施策遂行までの過程を知ることは、学生にとって実務現場を知る深い学びとなったと考える。

今後の課題、展望

今回は一つの授業内での活動となった為、時間的制約があった。今後は、ディスカッションなどの時間が十分に取れるよう活動計画の修正を進める。また、研修制度や人材育成のほか地域や地元企業の活性化に関してもテーマを広げ、本勉強会を継続して行きたいと考えている。

